

# 平成27年度事業報告

北杜市南アルプスユネスコエコパーク  
地域連絡会

# 各部会会議

- 地域連絡会における事業の立案と実行のため、各部会において会議を開催しました。
- 幹事会：2回実施
- 環境部会：6回実施
- 文化・教育部会：7回実施
- ブランド部会：6回実施
- ツーリズム部会：9回実施
  
- 会議費：会議飲物代(31,408円)

# 会議の様子



# 研修事業

- 南アルプスユネスコエコパークを構成する他の市町村を訪問し、見識を深めるほか、交流を図りました。また、講師として山田桂一郎氏をお招きし講演会を開催しました。地域連絡会の今後の運営について相談を行い、意見交換をしながら、アドバイスをいただきました。
- 平成27年11月9日（静岡県川根本町訪問）幹事会
- 平成27年11月26日（長野県大鹿村訪問）ブランド部会
- 平成27年12月19日（講演会）
  
- 研修費：81,260円（謝金除く）

# 研修会の様子(川根本町)

平成27年11月9日







# 研修会の様子(大鹿村)

平成27年11月26日







# 中央構造線断層鞍部

MEDIAN TECTONIC LINE FAULT SADDLE

中央構造線主断層面の、走向(STRIKE)N10~20°E、傾斜(DIP)70~80°E

西南  
日本  
内帯



西南  
日本  
外帯

## 中央構造線-恐竜時代からの大断層



中央構造線を境に、まったく異なるちがった岩石が埋まっています。

## 断層鞍部と断層丘陵



西南日本内帯 中央構造線 西南日本外帯  
中央構造線の断層鞍部は発見されず、中央構造線が断層を構成することになったような地形-断層鞍部(じょうのこし)が確認できます。鞍部どうしをつなぐと一帯に広がります。

岩石園内の「中央構造線」と示されている線を見とおしてみ  
下さい。中央構造線の断層鞍部(あんぶ)の位置が分かります。  
この解説板のところから、中尾の堀田城(ほったじょう)の  
断層鞍部が見えます(写真)。反対側からは、下青木の城の腰  
(じょうのこし)の断層鞍部が見えます。なぜ断層地形に“城”  
という地名がついたのでしょうか?

(じっさいの中央構造線は、博物館の建物と『ろくべん館』の間を通っています)



# 講演会

平成27年12月19日



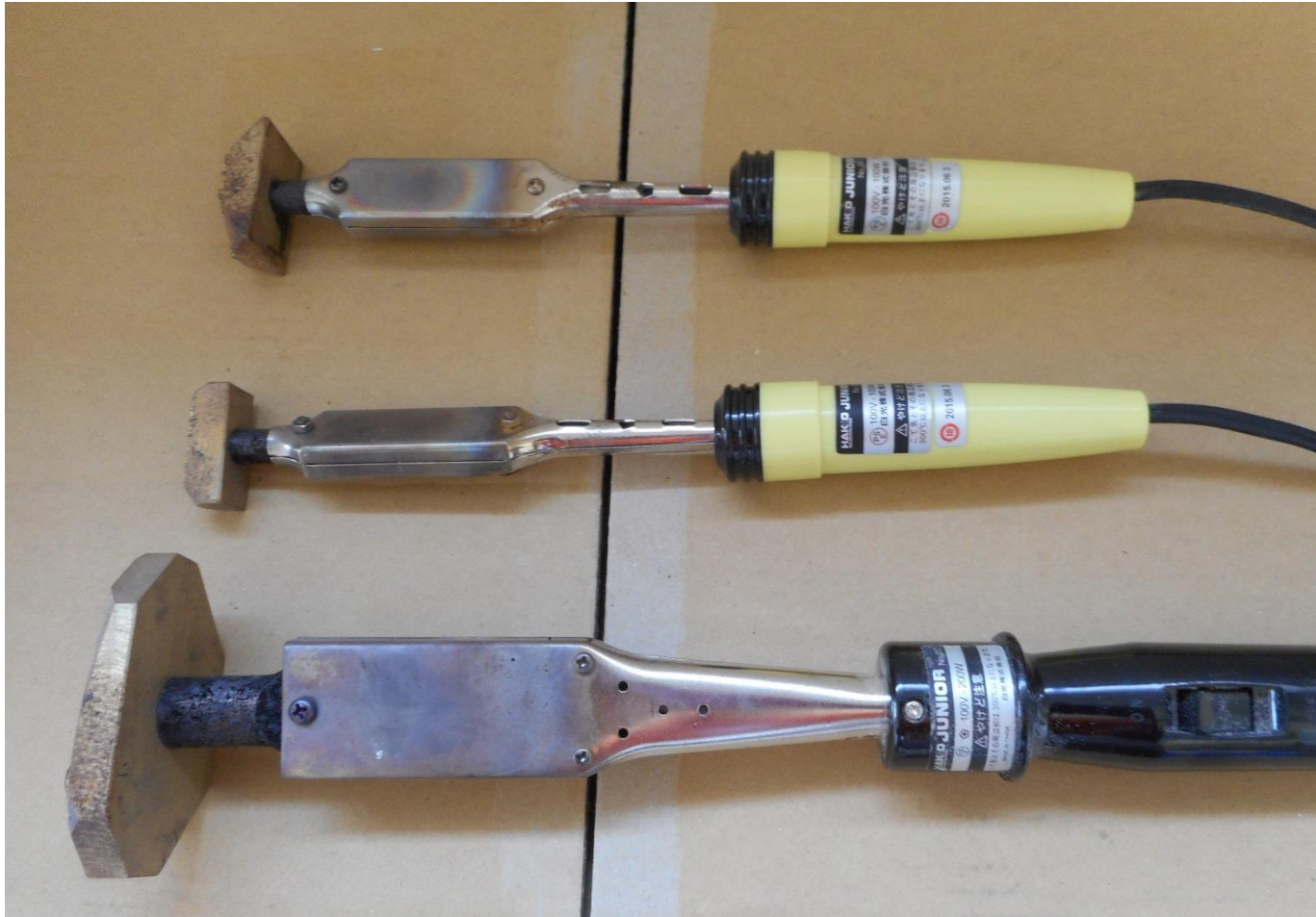
# PR活動・地域住民との交流

- 平成27年11月8日、白州名水まつり会場に地域連絡会の専用ブースを設け、南アルプスユネスコエコパークの案内、焼ゴテを用いたカジカの焼印入りの木製はがき作り体験をとおして、PR活動ならびに地域住民との交流を図りました。
- 消耗品費：138,240円（焼印 × 3・焼ゴテ × 3）

# 木製はがき作り体験



# 焼ゴテ





# 焼印



# 木製はがき

(重量オーバーのため送料は120円)



# 伝統芸能保存

- 平成28年2月20日、甲斐駒センターせせらぎにて「民話を楽しみ昔の暮らしを考える会」と称した講演会を実施し、地域の歴史・文化について地域住民の方と共に楽しみながら学び、交流を図ることもできました。また、昔から伝わる地域独自の歴史・文化を後世に伝え、残していくために、DVDを作成しました。このDVDは、教育の現場等で活用していただくために、教育委員会で貸出も行っています。
- 番組制作費：205,200円

# 講演会の様子

平成28年2月20日







# 講和制作費について(補足)

- 表題のことについて、205,200円で制作したDVDの経緯と今後の活用等を説明します。

地域の自然環境と文化を共有の財産と位置付けるとともに、優れた自然環境と文化を継続的な保全と持続可能な利活用に取り組むことを通じて、自然の恩恵を活かした魅力ある地域作りを目指す。という部会の目的をもとに、保存用のDVDを作成しました。

現在、民話の語り手がほとんどいないのが現状で、録音したテープ等も保存されていないことから、地域連絡会の事業として、記録をすることに決定しました。このことによって、歴史的な民話の存在を、地元の人に知ってもらい、後世に残していくのがねらいです。今後は、教育の現場に取り入れるために、学校等にDVDを貸出し、子どもたちに民話を広めていきたいと考えています。

報告を終わります